

冒険しんぶん

2010/07/17

ピアノ発表会

第9版

発行・編集

ポコリーナ

ケンケン

今回は「るびー」こと
ab*grb(改) さんです。

彼はこのコミュニティの設立当初から来てくれていて、多くのメンバーから親しまれています。

若いながらもしっかりしているるびーさんにお話を伺いました。

今はどんなことしているの？

今年3月に大学を卒業し、9月からはイギリスの大学院に進学予定です。ブランク期間である現在は、留学準備やアルバイトなどをして日々過ごしています。

イギリスの大学院ですか、それはすごいー

また、通訳・翻訳のお仕事も時々しています。先日はイギリス人の占星術師について、占い鑑定の通訳をしました。

ー占いの通訳ですか、面白い仕事ですね。ところで、ピアノはいつから始めたの？

6歳からです。ある日母親が「水泳とピアノ、どっちを習う？」と聞いてきて、それで僕は「泳ぐのは疲れるからイヤだ、ピアノは楽そう」と答えたそうです(笑)。

ーそんな理由だったんだ(笑)。

家の近くにピアノ教室があったので、そこで習い始めました。いわゆる「町のピアノ教室」という感じで、で先生も優しく、楽しくピアノを弾いていました。特にピアノに熱心に取り組んだ、ということはありませんね。

ーその後は？

ピアノを細々と続けつつ、小4から小6までは鼓笛隊でユーフォニウム(チューバを小さくしたような楽器)を吹いていて、中1では吹奏楽部に入る予定・・・でしたが、卓球部に入りました(笑)

本当は吹奏楽部に入りたかったのですが、母親が僕に運動部に入れさせたがっていたのと、自分でも新たなことに挑戦してみたかったなので、卓球部に入部しました。なるほど。

でも卓球部は1年で辞めちゃいました(笑) 中学1年の途中から吹奏楽部に入り、またユーフォニウムを再開したんです。

ーどうしてプラスバンドに戻ったの？

秋の学園祭で演奏を聴いて、刺激を受けたからです。「やっぱり、ステージでみんなで演奏するの楽しそうだな」って。タコ焼き

なんか焼いてる場合じゃない(笑)！と思って、卓球部をやめて、吹奏楽部に入部することを決意しました。

ー吹奏楽部ではどんな感じだったのかな？

入部したてのころは、かなり熱心に練習していました。たとえば休日に部活の練習がある日は、9時から12時、13時から17時の全体練習があるのですが、朝の早い時間や昼休みを活用して個人練習に励んでいました。

ーすごいーそこまでやってたら相当上手くなったでしょう？

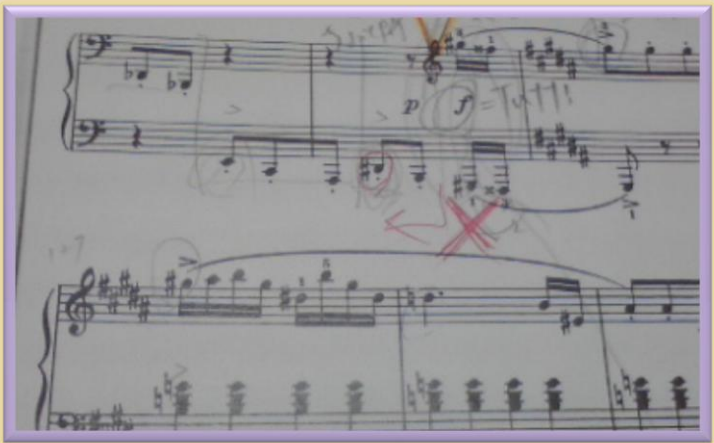
そうですね(笑)。その後も練習に励み、中学3年の時に出たコンクールでは、全国大会で3位入賞しました。その後、親に楽器(ユーフォニウム)を買ってもらって、さらに練習にのめりこみました。

だけど、高2のときに、他の部員とうまくいかなくなって、部活が嫌いになってしまい・・・部活も楽器もすぱとやめてしまったんです。

ーそれは残念だったね・・・。大学生活はどんな感じ？

昔から英語が好きで、漠然と「究めたい」という気持ちがあったので、英文科に進学しました。英語に興味をもったきっかけは、中学に入った時の先生が英語の発音がよくて、これを習得できたら面白いだろうなあ、と思ったことで

コミュニティで最初に弾いた曲のプロコ、ソナタ 6 番 4 楽



す。

その後、途中サボる時期もありましたが、一生懸命英語を勉強して、大学受験の頃には英語が得意科目になっていました。そして大学の英文科に入学し、クラス分けテストで上級クラスに入れたのですが、クラスの20人中18人が帰国子女または留学経験のある人で、僕より英語が出来る人ばかりでした。

そこでは劣等感を味わって、すっかり英語が嫌いになってしまいました(笑)。だんだん勉強に對するモチベーションが低下し、授業からもだんだん足が遠のいていきました。

そこで勉強が嫌になったこともあり、代わりに(?)その頃再開し始めたピアノに(受験期間はお休み)、没頭するようになりま

す。
「そうなんだ。ピアノはどういう感じで再開したの?」

まず大学のピアノサークルに入りました。今でも鮮明に覚えているのですが、新入生歓迎コンサートで、同学年ですごく素敵な演奏をする子がいました。・・・かなりの刺激を受けました。そこでちゃんとピアノをやり直さなければ!と思い、知り合いのピアノニストの先生に師事し始め、本格的にピアノを習い始めました。

レッスンはものすごく厳しくて、ドを鳴らすのに1時間かけたリ、わざわざソナチネから復習したりとか・・・。それまで「英雄」とか「木枯らし」などそこそこ難しい曲を弾いていたので、最初の2、3ヶ月間は苦痛でした。

「本当の基礎からやり直したんだ・・・えらすぎ。」

でも、基礎からまじめに練習したおかげで、どんどん上達していきました。だんだん欲が出てきて、1日1時間ほどの練習だと物足りなく感じ、授業をサボって練習するようにもなりました(笑)

「そこまでしてまで。本当にピアノに集中したんだね。」

2年生になってからは、もっと演奏機会が欲しいなと思い、この「ピアノの発表会」コミュニティのイベントに参加し始めました。自分より年上の社会人の方、また音大生やピアノ教師の方と知り合うことができ、世界が一気に広がりましたね。

またサークル内では、定期演奏

会の運営にもチャレンジしてみました。今まで演奏者としてしか発表会に出ていなかったため、ホールを予約したりプログラムを作成するなど、「裏方」をこなすのは新鮮で楽しかったです。この経験を通じて、ステージで演奏できることのありがたみを実感しました。

「それは貴重な経験だったね。」

大学3年次には、お世話になっているライブハウスのオーナーから、サロンコンサートをやってみないかと誘われました。最初は戸惑ったものの、大学の後輩と二人でトライすることを決意しました。小さな会場でしたが、お金をいただいて演奏していたため、本当に緊張しました。

「お金を頂く、ということとはプレッシャーがかかるよね。」

そうですね。お金をいただいている以上は、いい加減な演奏が聴かせられませんから、やはりプレッシャーがかかります。準備期間中、自分の演奏に自信が持てなくて、精神的に参ってしまうことが何度もありました。コンサート前日は一睡も出来なかったほどです・・・でも本番ではなんとか上手くいきまして、お客さんからも良い反応がいただけました。

「努力した甲斐があったね!」

その後も、学業とどうにか並行しながら(大学2年からは勉強もまじめに取り組むようになりました(笑))、ピアノに懸命に取り組み続けました。ちょっとした演

奏のアルバイトや、コンクールに挑戦するなど、どんどんと活動の幅を広げていきました。

このように、勉強と音楽とを両立する大学生活を送ってきたわけですが、だんだんと、将来は仕事と音楽の両方を「二足の草鞋」でこなせたらいいなあ・・・と考えるようになりました。実際、何か職を持ちながらも、セミプロレベルで、ピアニストとして活躍している方もいらっしやるんですよ。今は勉強の方に重点を置いています。ピアノもまた近いうちに本格的に取り組みなおしたいと思っています。

「将来の方向性も決まってきたんだね。」

そうですね。二つの事を高いレベルで続けていくのは簡単なことではないが、どうにか時間をや上手くやりくりして、こなしていきたいです。

編集後記

最初会った時にはまだ「学生さん」という感じでしたが、久々にお会いしてとても頼もしくなっていました。ですのでいいなあと思えました。9月から海外に行ってしまうので、ピアノは今のうちに聴いておかねば。これからも頑張ってくださいね！

Blog(改) さんが近々コンサートを開かれるそうですので「案内です。」

「阿部貴史 クラシックピアノライブ」

◆日時 8/11(水), 25(水) 両日とも 19:30~

◆会場 笹塚 Blue-T

京王線笹塚駅より徒歩8分
(homepage) www.blue-t.jp/

◆料金 1 drink (投げ銭式)

◆曲目 ショパン/ノクターン 13番, 20番, 幻想即興曲, ソナタ 2番 など

◆問い合わせ

takafumi-piano-english.213a@ezweb.ne.jp



先週の土曜日、友達の浴衣パーティーに参加してきました。

普段着物を着ないものですから、着物姿ってだけでみんなテンションが高く楽しかったです。仲いい友達の浴衣姿も超かわいい！

メンズの着物姿もいいですねー。



21時になったら、場所を多摩川河川に移し、花火を楽しみました。



なんかキャンプファイヤー失敗したみたいになってますが、一応打ち上げ花火です。

着物を普段着として着なくなりましたが、良さを再確認した、早い夏の日でした。